■ 標準塗装仕様

■ コンクリート・モルタル

工程		塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m²/回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地調整		被塗面のごみ、ほこりを除き、清浄な下地とする。						
下塗り	新設	水性透明シーラー	1	0.04～0.05 注)	2時間以上	水道水	100	はけ、ウールローラー エアレススプレー
	塗り替え	水性シミ止めシーラーⅡ	1	0.11～0.13 注)	4時間以上	水道水	0～5	はけ、ウールローラー
上塗り		オーデコートGエコ	2	0.13～0.15 注)	4時間以上	水道水	0～10	はけ、ウールローラー エアレススプレー

※外部・準外部・水まわりは、水性カチオンシーラーをご使用ください。

■ 鉄　部

工程		塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m²/回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地調整		被塗面のごみ、ほこり、劣化塗膜を除き、清浄な下地とする。						
下塗り	新設 塗り替え	水性ハイポンプライマー	1	0.13～0.16 注)	4時間以上 7日以内	水道水	0～5	はけ、ウールローラー
上塗り		オーデコートGエコ	2	0.13～0.15 注)	4時間以上	水道水	0～10	はけ、ウールローラー エアレススプレー

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いします。

注）・「オーデコートGエコ」の塗付け量は、0.12kg/m²/回です。・「水性透明シーラー」の塗付け量は、0.03kg/m²/回です。・「水性シミ止めシーラーⅡ」の塗付け量は、0.09kg/m²/回です。
- 「水性ハイポンプライマー」の塗付け量は、0.11kg/m²/回です。
- 使用量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料（希釈する前）の使用質量
- 塗付け量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料（希釈する前）の付着質量

■ 金属部適用下塗り塗料（さび止め）

水性ハイポンプライマー、ハイポンファインプライマーⅡ、
1液ハイポンファイン
デクロなど

（使用するさび止め塗料の肌の違いにより、上塗り塗装後の外観・光沢感に若干の差異が生じる場合があります。）

■ 木部適用下塗り塗料

水性ウッドベースU

■ 注意事項　●詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください。

- ●絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- ●塗装後24時間以内など乾燥不充分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- ●色相によっては降雨、結露によって濡れ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- ●乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- ●スプレーノズルの先端は、時々水洗いをしてください。作業能率の低下および塗りむらの原因になります。
- ●塗装直後から頻繁に人が触れるようなドアの一部や手すりなどでは、皮脂の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。
- ●乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- ●動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- ●低VOCのため、氷点下で貯蔵すると凍ります。凍らないように5℃以上で貯蔵、保管をしてください。
- ●JIS K 5663 1種（主として屋外用）の試験に合格する性能を有しておりますが、耐久性が必要な外壁には、外壁専用塗料をご推奨いたします。
- ●旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- ●外部の風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ一液浸透シーラー、ファイン浸透シーラーをご使用ください。
- ●蓄熱されやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など）を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階で既に旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- ●やにが著しく付着している場合は、ウエスなどでやにを水拭きして除去し被塗装面を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥（目安23℃、6時間）させてから2回目の塗装をすることでやに止め性が向上します。シミ、あく面は止まりにくい場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗装面を十分乾燥させてから塗装してください。
- ●塩化ビニールクロスのはがれ、めくれ、浮きなどは接着剤で貼り付け、ローラーで圧着したり、類似クロスで面合わせをするなどあらかじめ補修してください。またクロスの接着力が低下している場合、塗装することでクロスが浮き上がってくることがありますので、クロスの合わせ部などはあらかじめ接着剤などで抑えておくことが安心です。
- ●素地は含水率10%以下、pH9以下となるように調整してください。
- ●ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材（ニッペセメントフィラー、ニッペフィラー200）などで処理してください。（合成樹脂エマルションパテの使用は避けてください。）
- ●外部新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ一液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- ●外部では、素材にセメント成分などが使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
- ●塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ●屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ●塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- ●塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行ない、火気厳禁にしてください。
- ●飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ●シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- ●笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- ●塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- ●上塗りに冴えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。
- ●調色には必ず専用の原色をお使いください。
- ●濃彩色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがありますのでご注意ください。
- ●大型壁面塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の条件を同一にしてください。
- ●はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ●ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- ●塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りは出来る限り入り隅まで入れてください。
- ●汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。
- ●クロスの上の塗装は避けてください。
- ●ローラー、ハケなどは、他の塗料での塗装に使用するとハジキなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- ●可塑剤が多く含まれる塩ビゾル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようご注意ください。
- ●平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
- ●使用前に内容物が均等になるようにかくはんし、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- ●つや調整品は、被塗物の形状や素地の状態、膜厚や色相などにより、実際のつやと若干違って見える場合があります。見本塗り板、または、あらかじめ試し塗りをして確認してください。

安全衛生上の注意事項 ＜オーデコートGエコ 白＞

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
- 粉じん／ガス／蒸気／スプレーなどを吸入しないでください。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
- 汚染された作業衣は密封袋に入れて作業場から出してください。
- 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 適切な保護手袋／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用してください。
- 必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- 飲み込んだ場合:気分が悪いときは、医師に連絡してください。口をすすいでください。
- 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
- 眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けてください。
- 皮膚に付いた場合、多量の水とせっけんで洗ってください。
- 取り扱った後、手を洗ってください。
- 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けてください。
- 直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください／取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。
- 粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
- 暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- 緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
- 容器からこぼれたときには、砂などを散布した後処理してください。
- 施錠して子供の手の届かないところに保管してください。
- 直射日光や水濡れは厳禁です。
- 積み重ねは3段までとしてください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。
- 内容物／容器を廃棄するときには、国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
□詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート（MSDS）をご参照ください。
□本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

警　告	危険有害性情報
	強い眼刺激／アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ／発がんのおそれの疑い／呼吸刺激を起こすおそれ、または、眠気やめまいのおそれ

日本ペイント株式会社

お客さまセンター
☎03-3740-1120
☎06-6455-9113
http://www.nipponpaint.co.jp/

●ISO14001を全事業所で認証取得。
●このカタログは、再生紙を使用しています。

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

※本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
※© Copyright 2008 NIPPON PAINT Co.,Ltd All right reserved.

■詳しい情報はホームページで 日本ペイント　建物 検索 http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html

カタログNo.
NP-M104
KB081006T
2008年10月現在

室内環境配慮形水性つや有り塗料

オーデコートGエコ

Fineness For Fine Life
ファイネス
環境配慮形商品

JIS K 5660 つや有合成樹脂エマルションペイント	つや有り
JIS K 5663 1種 合成樹脂エマルションペイント	5分つや有り 3分つや有り つや消し
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆

Basic & New
NIPPON PAINT

つや有り塗料で超低VOCと超低臭を実現。新世代の水性つや有り塗料の標準です。

6つのやさしさ

①水性つや有り塗料で総VOC量0.2%以下を達成しています。
②臭いのもとを根本的に断つことにより、塗装中・塗装後もほとんど臭気がありません。
③ホルムアルデヒド、トルエン、キシレンなどの厚生労働省などの規制指針に該当する化学物質を配合していません。
④鉛などの有害重金属は配合していません。
⑤水性透明シーラーとの組み合わせにより、超低VOCつや有り仕様ができます。
⑥抗菌、防藻・防かび仕様があります。（オプション設定です。）

3つの確かさ

①つや有りは JIS K 5660 に合格しています。
また、つや調整品は JIS K 5663 1種（注）に合格しています。
②防火材料認定を取得しています。
③環境配慮形塗装システム・ウェルパッケージシリーズの商品（Fi-SOP、Fi-EPG）として推奨しています。

用途

一般住宅、学校、幼稚園、託児所、介護施設、病院、ホテル、オフィス、レストラン、食品工場など
建物内部のコンクリート、モルタル、ボード類や鉄部、木部など

塗装方法

はけ、ウールローラー、エアレス

本商品には当社工場にて製造もしくは調色したJIS表示品と、店頭にて調色していただく為のJIS非表示品があります。JIS表示が必要な場合はご注文時にその旨をご指示ください。

商品体系

	つや有り	5分つや有り・3分つや有り・つや消し	ホルムアルデヒド放散等級	防火材料認定	色相※	白容量	原色容量
オーデコートGエコ **オーデコートGエコ** 抗菌・防藻/防かび仕様	JIS K 5660	JIS K 5663（注）	日本塗料工業会登録 N02031 F☆☆☆☆ ［居室内外での使用面積制限はありません。］	NM-8585 不燃材料 QM-9816 準不燃材料 RM-9364 難燃材料	白 淡彩 中彩 濃彩	15kg	15kg 4kg

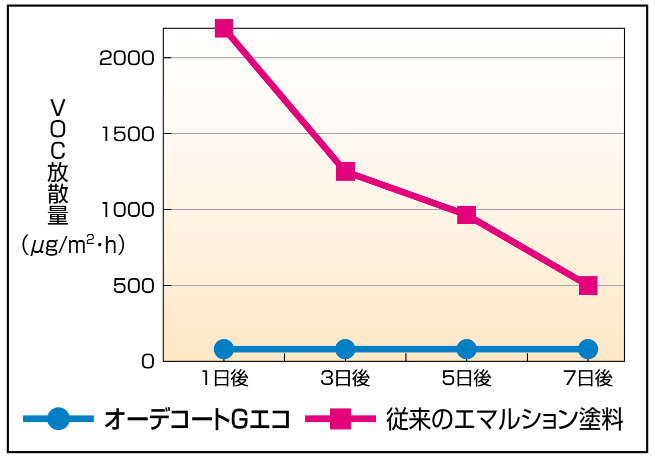
（注）［JIS K 5663 1種（主として屋外用）の試験に合格する性能を有しておりますが、耐久性が必要な外壁には、外壁専用塗料をご推奨いたします。］

つや：つや有り、5分つや有り、3分つや有り、つや消し
荷姿：ホワイト／15kg（意匠缶）
原色（ブラック、インディアンレッド、オーカー、シャニンブルー、パーマネントエロー、シンカシャレッド）／15kg（意匠缶）、4kg（ラベル缶）
※調色：つや有り、5分つや有り、3分つや有りは淡彩色から濃彩色まで調色可能。つや消しは淡彩色のみ。

室内環境対策性能

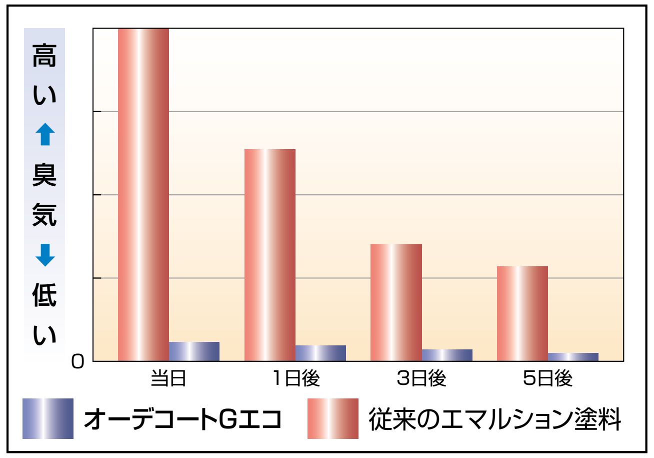
塗装後の塗膜から放散されるVOC（Volatile Organic Compaunds：揮発性有機化合物）を測定。塗装中、直後から放出されるVOCと臭いはほとんどありません。

超低VOC 塗装した翌日からほぼ0に近いVOC（揮発性有機化合物）放散量。



※当社従来品との比較

超低臭 塗料から放出される臭いの絶対量が初期から圧倒的に少ない。



※当社従来品との比較

室内環境指針・目標対策

日本で唯一の数値としての指針を出している厚生労働省の揮発性有機化合物を配合していません。
また日本塗料工業会の目標基準を満たしています。

■厚生労働省の揮発性有機化合物の室内濃度に関する指針値に合格

対象化学物質	室内濃度指針値（値は25℃での換算）	オーデコートGエコ※
ホルムアルデヒド	100μg/m³（0.08ppm）	配合せず
トルエン	260μg/m³（0.07ppm）	配合せず
キシレン	870μg/m³（0.20ppm）	配合せず
パラジクロロベンゼン	240μg/m³（0.04ppm）	配合せず
エチルベンゼン	3800μg/m³（0.88ppm）	配合せず
スチレン（モノマー）	220μg/m³（0.05ppm）	配合せず
フタル酸ジ-n-ブチル	220μg/m³（0.02ppm）	配合せず
クロルピリホス	1μg/m³（0.07ppm）成人 0.1μg/m³（0.007ppm）子供	配合せず
テトラデカン	330μg/m³（0.04ppm）	配合せず
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	120μg/m³（7.6ppm）	配合せず
ダイアジノン	0.29μg/m³（0.02ppm）	配合せず
アセトアルデヒド	48μg/m³（0.03ppm）	配合せず
フェノブカルブ	33μg/m³（3.8ppm）	配合せず

※現時点での原料情報に基づいた調査結果で、実際の測定結果ではありません。

■日本塗料工業会の健康リスクに関する目標基準（室内塗料）

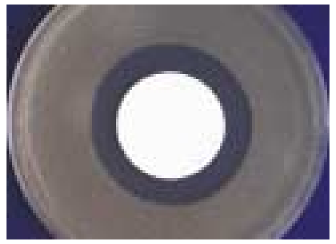
設計条件	目標値	オーデコートGエコ
TVOC	1%以下	0.2%以下
芳香族系溶剤	0.1%以下	配合せず※
アルデヒド類	0.01%以下	配合せず※
重金属（鉛、クロムなど）	0.05%以下	配合せず※
発癌性物質 生殖毒性物質 変異原生物質	0.1%以下	配合せず※
感作性物質	0.1%以下	配合せず※

※不純物として、ごく微量検出される可能性があります。

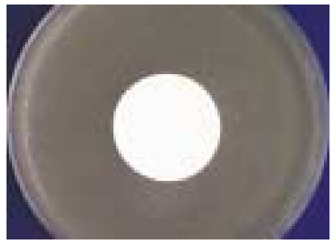
抗菌性能、強力な防藻/防かび性能

すぐれた抗菌性で、院内感染や食中毒の原因となる菌を防ぎます。
また建物に繁殖するかびや、準外部に発生する藻などにも効果があります。
（オプション設定です。）

抗菌機能 病原性の菌や雑菌が発生しにくい環境をつくります。

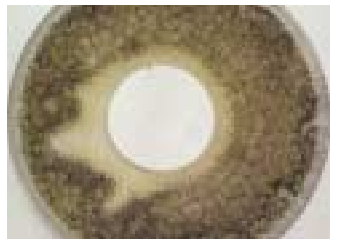


オーデコートGエコ

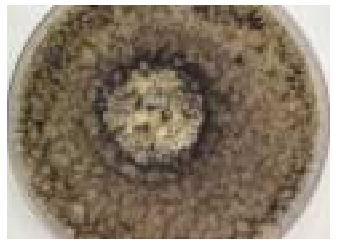


従来のエマルション塗料

防かび機能 様々なかびの発生しにくい環境をつくります。



オーデコートGエコ



従来のエマルション塗料

基本性能

つや有りは JIS K 5660、つや有合成樹脂エマルションペイントの規格に合格しています。
つや調整品は JIS K 5663 1種、合成樹脂エマルションペイントの規格に合格しています。

試験項目	規格	5分つや有り・3分つや有り・つや消し	つや有り
		JIS K 5663 1種	JIS K 5660
		試験結果	
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする	合格	合格
塗装作業性	2回塗りで、はけ塗り塗装作業に支障があってはならない	合格	合格
低温安定性（−5℃）	変質しないものとする	合格	合格
乾燥時間（h）	標準状態 2以内　5℃ 4以内	合格	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする	合格	合格
隠ぺい率（%）（白及び淡彩）	93以上	合格	—
	95以上	—	合格
鏡面光沢度（60°）	70以上	—	80
耐水性	96時間浸したとき異常がないものとする	合格	—
	96時間浸したとき光沢保持率が80%以上で、塗面に異常がないものとする	—	合格
耐アルカリ性	48時間浸したとき異常がないものとする	合格	—
	7日間浸したとき光沢保持率が65%以上で、塗面に異常がないものとする	—	合格
耐洗浄性	500回の洗浄に耐えるものとする	合格	—
	1000回の洗浄に耐えるものとする	—	合格
耐湿潤冷熱繰返し性	光沢保持率が80%以上で、湿潤冷熱繰り返しに耐えるものとする	—	合格
促進耐候性	白亜化の等級は1以下で、膨れ、はがれ および 割れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする	合格	—
	480時間の試験で光沢保持率が60%以上、白亜化の等級は1以下で、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする	—	合格
屋外暴露耐候性	12か月間の試験で、膨れ、はがれ および 割れがなく、色の変化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする	合格	—
	12か月間の試験で、白亜化の等級は2以下で、割れ、はがれ、膨れ および 穴がなく、色とつやの変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする	—	合格